

	質問・意見等	回答等
1	平成 31 年に新千里南町 3 丁目第九中学校へ通学区域変更されるが、第九中学校の教室数に余裕はあるのか。生徒数はどのくらいになる予想か。第九中学校の教室不足への対応策が全く白紙ならば、新千里南町 3 丁目また通学区域変更の対象地域とされる可能性があるのか。	第九中学校区へ新千里南町 3 丁目を変更すると、平成 32 年の生徒数 1,028 人、通常学級 27 学級、支援学級 7 学級、合計 34 学級となる予想です。支援学級は、一つの教室を区切って何学級かで使用することもあるため、教室数と学級数は必ずしも一致しません。また、学級編制の基準となる生徒数のうち、支援学級に在籍する生徒の数によって学級数が増減する可能性があるため、正確な予測は困難です。 第九中学校は普通教室が 29 教室あり、いずれにせよ厳しい状況となります。現時点において第九中学校の教室不足が見込まれた場合の対応策は決まっていますが、少なくとも 10 年程度の短いスパンで新千里南町 3 丁目の通学区域を再度変更するのは良くないと考えています。 今後、新千里南町 3 丁目通学区域変更の対象にならないと断言することはできませんが、少なくとも、近い将来、教室不足となる可能性のある第九中学校の対応策として、新千里南町 3 丁目の通学区域をさらに変更することは今のところ考えていません。
2	新千里南町 3 丁目再び通学区域変更の対象にならないとの確約がなければ、今回の事務局案のとおり平成 31 年に第九中学校へ変更されることへの不安が大きい。	今後、新千里南町 3 丁目通学区域変更の対象にならないと断言することはできませんが、少なくとも、近い将来、教室不足となる可能性のある第九中学校の対応策として、新千里南町 3 丁目の通学区域をさらに変更することは今のところ考えていません。
3	平成 26 年から平成 28 年までの間に学校給食の配膳室を第九中学校に設置する予定である。事務局案の第九中学校の教室数の予測は、普通教室を改装し配膳室に充てることを見込んだうえでの数字か。	第九中学校の普通教室を転用して配膳室を設置する計画ではありません（普通教室が減少するわけではありません）。
4	もしも第九中学校の教室不足が見込まれた場合、判明した時点から検討に着手するとの事だが、間に合うのか不安である。中学校の増築には何年くらいかかるのか。	一般的に、校舎の増築は 2～3 年必要ですが、増築が間に合わないから通学区域の変更で対応するというにはならないと認識しています。毎年作成する将来推計に基づくシミュレーションの結果、明確に教室不足が見込まれた場合は、具体的な対応策の検討に着手することとしております。その場合は、施設の増設・充実、又は隣接校との通学区域の変更のいずれかの方法で検討します。
5	「小中一貫教育の必要性」「分割校の解消」という点について、市民は理解できていない。例えば、小学校単位で小中一貫教育に関する説明会を実施し、掘り下げて説明してほしいとの要望があれば、実施いただけるのか。	豊中市では、従来から小学校と中学校が連携して、様々な教育活動を実践しております。今後、義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動を進めることとしており、中学校区単位で小中一貫教育に向けた具体的な取り組みを実践しているところです。 今後、市としてどういう形で小中一貫教育を展開し、皆様へどのようにお示すべきかについて検討している段階です。掘り下げた説明は今のところ、難しい状況ですが、各学校の小中一貫教育の取り組みや成果等、これまでの実施状況については説明できるものと考えています。
6	新千里南町 3 丁目の府営住宅の建替えが完了することを見越したうえで将来推計を算出しているのか。	府営住宅の建替えは、20 年程度のスパンで 6 期に渡って工事を順に実施すると聞いておりますが、詳細な計画が不明であり、今回の将来推計には反映していません。
7	東泉丘小学校以外にも、児童が増加傾向にある学校はあるだろう。将来推計を注視し検討いただいていることは理解しているが、先を見据えてもう少し余裕をもった進め方にして欲しい。	事務局は「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」に基づき検討を進めております。将来推計は毎年 5 月 1 日時点の学齢簿及び住民基本台帳のデータを基に算出していますが、数値の分析等に時間がかかり、確定時期を早めることは困難です。

	質問・意見等	回答等
8	<p>通学に関して、新千里南町3丁目から南丘小学校・第九中学校への通学(経)路の安全確保が必要である。特に、中学生はクラブ活動で遅い時間帯の下校が予想されるため、心配である。また、PTAの関心度の低さは問題である。今回の事務局案は、大部分の保護者が知らない間に進められ、知っているのはPTAの一部のみである。意見交換会への参加意思はあるが参加できていない方もいる中で、もう少し小分けに説明会を開催する等の工夫が必要である。例えば、アンケート実施も方法の一つである。</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p> <p>また、本件についてアンケートを実施する予定はありません。説明会の周知や実施方法に問題があることは承りました。今後の実施については、地域団体等の要請に応じて個別に対応することも検討したいと思います。</p> <p>また、説明会に来られていない方の意見を聴取する必要があると考えており、ホームページ等での情報発信や、電子メール等での意見聴取等に努めてまいります。</p>
9	<p>信号や横断歩道の新設には、どのくらいの期間がかかるのか。例えば、上天竺橋の前後には信号も横断歩道もなく、通学路として危険である。</p>	<p>現在、全小学校において通学路緊急点検を実施し、点検結果を集約しているところです。そこで挙げられた危険箇所については、都市基盤部や警察等へ速やかに伝え、対応していきます。</p> <p>ご質問の件ですが、具体的には、豊中警察から大阪府警へ伝えられ、該当する道路の交通量調査等を実施し、信号設置の可否を決定することになります。これまでの事例から、信号設置に何年も費やすことはなかったようです。また、信号設置が不可となった場合は、路面標示や電柱幕等、何らかの注意喚起の手立てを考える必要があると認識しています。</p>
10	<p>通学路緊急点検について、現在点検されている箇所は、現行の通学路についてのみである。今後、新たに通学路となる箇所については、今回の点検から漏れていると思うので、別途点検が必要な箇所として留意いただきたい。</p>	<p>新たに通学路になると考えられる箇所については、たとえ決定していなくても警察等に確認のうえ、ルートを想定したうえで、危険箇所の把握及びその対応について検討してまいります。</p>
11	<p>第九中学校区はLED化されるのか。中学生はクラブ活動で下校時間が遅くなり、暗い夜道を通ることになる。昨年度、高校生がわいせつ被害にあったということも聞いている。通学経路によっては、緊急時に助けを求めて駆け込みたくても駆け込めないという状況も想定される。</p>	<p>千里地区のLED化は進んでいると聞いておりますが、第九中学校区の詳細な状況等につきましては、持ち帰り確認いたします。</p>
12	<p>新千里南町3丁目のマンションは、高齢者が多い反面、子育て世代の若い世帯も多い。東泉丘小学校の児童が今後も増加する見込みとのことだが、児童数だけでなく地域コミュニティへの影響も考慮して欲しい。市では多くの地域団体が小学校区単位で活動している。なお、PTAにはもう少し説明会に参加していただきたいと思う。説明会には参加していないが、校区に存在する様々な団体の方々の意見を聞いて欲しい。</p>	<p>教育委員会としては、子どもの教育環境を第一に考えておりますが、地域コミュニティにつきましても、関係部局等と連携しながら、必要な支援を検討してまいります。4～5月の説明会の際にも、周知不足との指摘をいただいています。関心のある方は参加されますが、関心の薄い方はなかなか参加されないのが実情です。本日の意見交換会も、夕方から南丘小学校のお祭りがあると聞きし、参加しやすいのではないかと考えて設定しましたが、残念ながらあまりご参加いただけませんでした。</p> <p>今後も、周知方法等につきましては、校長と相談のうえ、見直していきます。また、ご要望があれば適宜説明に伺いたいと考えております。</p>

	質問・意見等	回答等
13	<p>反対意見があっても子どもの保育の関係等で、説明会に参加できない人は多くいる。他にも、誰かが決めてくれると他人まかせにして、参加しない方も多い。健育やPTAの役員であっても改選後の次期役員に託せばよいと考え、無理してまで参加しない人がほとんどである。また、通学区域変更がほぼ決定であるならば、平成28年から必要な準備や周知方法等を具体的に示していただきたい。健育は4月に役員が決まるが、日々の活動に加え通学区域変更に関わる諸調整をしなければならぬとなると多忙感は相当なものであり、かなりの信念がないと役員を積極的に引き受けたがらない。今年度中にある程度の準備に着手できるように配慮いただければ安心する。防犯カメラを設置する事となった場合、実現に至るまでどれくらいの期間がかかるのか。防犯カメラの整備も含め、平成29年4月に間に合うように準備しなければいけない。保護者は我が子がどの学校へ通学するかが最大の関心事であり、通学路の安全確保は後回しにされる傾向にあると思う。</p>	<p>関心があっても参加できない方がいることは課題と認識しています。秋口の決定までの間、多様な意見を聴取するためにも個別に対応していきたいと考えています。また、先だって準備しなければいけない事項については出来ることから対応していきたいと考えております。基本的に、皆様から意見をいただきながら検討を進めていきたいと考え、意見交換を積み重ねておりますが、全員に100%納得いただくことは難しいと思っています。少しでも理解していただけるように意見交換を重ねたいと考えております。</p> <p>次に、以前の説明会でも第十七中学校への通学経路を想定したルートは暗くて心配だという意見をいただいていた。街灯について所管の道路維持課に問い合わせたところ、第十七中学校区の街灯は今年度中にLED化される予定であり、夜間もかなり明るくなる見通しとのことです。ただし、LED化しても、街灯を設置する間隔は現状通りであり、増設する予定はないとのことです。</p> <p>また、防犯カメラについて所管の危機管理課に問い合わせたところ、設置を希望する自治会へ初期設置に係る費用の半額を補助しているが、その後のメンテナンスに係る費用等は自治会に負担いただいているとのことでした。現在、15の自治会で66台の防犯カメラを設置しています。ただし、設置方法や撮影方法等の具体的な事項は自治会内での同意が必要となります。設置にどれくらいの期間を要するのか等、詳細については持ち帰り確認いたします。</p>
14	<p>地域の理解を深めるために意見交換会を実施しているとのことだが、事務局からは地域の意見を聞き入れる姿勢が感じられず、単に決定事項を報告しに来ているような印象しか受けない。教育委員会が地域の意見を聞き入れる可能性があるか伺いたい。</p>	<p>今回の意見交換会では、現時点での事務局案をこれまでの検討経過を踏まえて説明したうえで、地域との意見交換を積み重ねながら、ブラッシュアップしていきたいという意向を示したつもりです。</p> <p>しかし、事務局案が根本から間違ったものであるならば、例えば署名活動等、地域住民の合意形成がなされ、校舎増築を望まれるのであれば、教育委員会が地元の意向を無視して押し進めることはできないと考えます。</p> <p>ただし、校舎増築となれば予算措置が必要となりますので、市議会において、その是非や内容等について審議されることとなります。</p>
15	<p>南丘小学校に通う2年生と5年生の子どもの親である。5年生の子どもは入学以来単学級が続いており、この地域に住んでいるから仕方ないと思ってその状況を受け入れてきたが、今年度初めて2クラスに分かれ、クラス替えが経験できたと喜んでいて。2年生は学力面の課題が大きいと、5年生は人間関係の課題が大きいと感じる。5年が複数クラスとなり教員の苦労を察するが、平成29年に児童数が倍増するに当たって、準備を整える必要があり、さらなる苦労が心配される。準備を教員だけに頼るのは申し訳ないと思っているが、保護者はどのようにサポートしていいのかわからない。教員の負担を和らげるために、地域のつながりで解消できることは解消しようと努力しているつもりである。これまで、南丘小学校区は人の少ない地域のため、暗黙の了解で物事が運ぶことも多くあった。今後は、新千里南町3丁目と一緒に新たな地域を作ることになるが、教育委員会には教員や地域へのサポートをお願いしたい。</p>	<p>受け入れる側の南丘小学校の不安は大きいと察しています。そのため、新千里南町3丁目の子どもや保護者が実際に南丘小学校を見学する機会や、またその逆の機会を設定する等の取り組みを検討する必要があるものと認識しています。</p> <p>徐々に互いの学校について理解を深め、互いに話し合いながら知恵を出し合って、一つずつ不安を解消していければと思います。</p> <p>具体的な取り組みについては、他市事例等を参考にしながら今後お示ししたいと考えております。事務局といたしましては、学校や地域の状況を踏まえて、よりよい教育環境を整えるためにできるだけ支援していきたいと考えています。</p>